

湖西市ハザードマップ「知波田・新所・入出地区」



この湖西市ハザードマップは、静岡県第4次地震被害想定におけるレベル2津波（最大クラスの津波）が発生した場合に想定される「最大浸水深」に、津波が建築物等に衝突した時に生じる、せり上がり高さを加えた水位（基準水位）を示しています。

レベル2津波（最大クラスの津波）発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波(南海トラフ巨大地震等)湖西市のレベル2津波高は1.5mです。

凡例	
--- 県界	--- 市界
--- 地区界	
◎ 市役所	消防本部 消防署本署
○ 支所	消防署分署
⊗ 警察 交番	耐震性防火水槽 (40t以上)
⊕ 消防団詰所	地区公民館・公会堂等
— 避難路	

災害危険箇所一覧

津波浸水深	津波の浸水深による分類の目安
10.0m ~ 20.0m	建物の階が水没、3階床面が浸水する可能性あり
5.0m ~ 10.0m	建物の階床面が浸水
3.0m ~ 5.0m	
2.0m ~ 3.0m	
1.0m ~ 2.0m	
0.3m ~ 1.0m	0.3mの水深で避難行動が困難になる
0.3m未済	

	安政東海地震推定浸水域 (1854年)	歴史資料、痕跡などをもとに推定した、1854年に起こった安政東海地震の津波浸水域です。
	土砂災害危険箇所	がけ崩れ、土石流の危険があるところです。
	土砂災害警戒区域	土砂災害危険箇所のうち、土砂が到達する恐れがある区域として県が指定した場所です。指定された区域は、個別のハザードマップの作成が義務付けられます。
	土砂災害特別警戒区域	

* 第4次地震想定では、震度分布・液状化危険度なども確認できます。詳しくは静岡県ホームページで確認してください。
<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/4higaisoutei/index.html>
 静岡県第4次地震被害想定

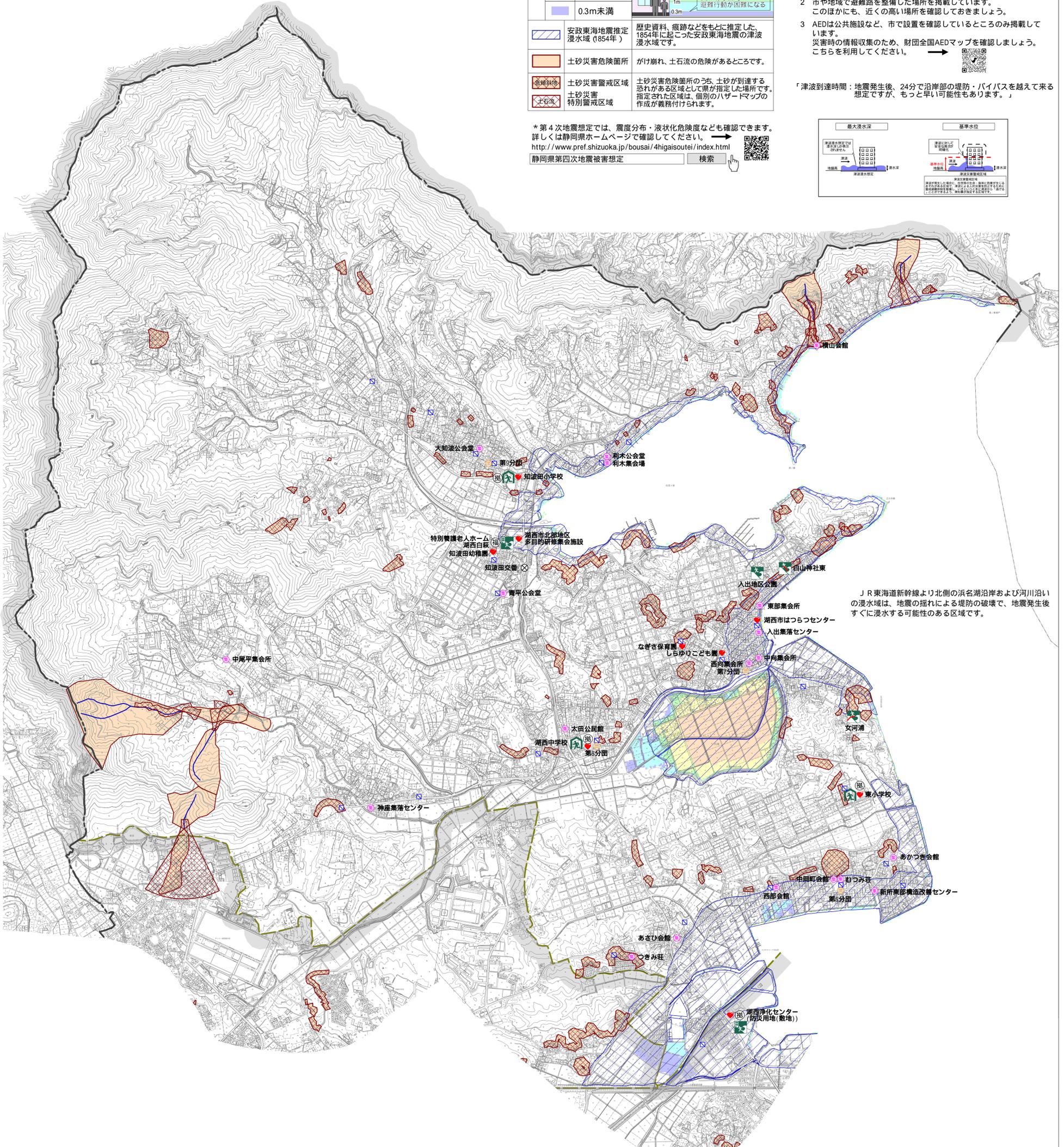
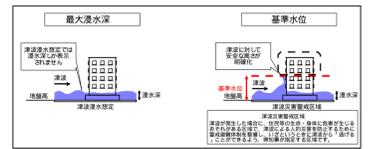
防災記号凡例	
記号	説明
	救護所 最初に治療を行うところです。(救護所への搬送は自衛・共助で)
	救護病院 救護所で治療ができない人の治療を行うところです。
	防災拠点 防災情報を収集するところです。
	避難所 自宅に住めなくなった人や、帰宅できない人が一時的に生活をする場所です。
	福祉避難所 介護が必要な高齢者の方などを受け入れる施設です。
	津波避難施設 1 津波の危険があるときに、一時的に避難できる施設です。
	津波避難場所 2 津波の危険があるときに、一時的に避難できる高台などです。
	AED設置箇所 3 AED(自動体外式除細動器)の設置施設です。

この施設は、今後の整備状況、災害の程度、建物の被害状況によって変わる可能性があります。災害時に臨機応変に対応できるよう、準備しましょう。災害時の情報収集のために、防災はつとメール、湖西市LINEアカウントに登録しましょう。登録はこちらを利用してください。



- 公表可能な施設のみ掲載しています。
- 市や地域で避難路を整備した場所を掲載しています。このほかにも、近くの高い場所を確認しておきましょう。
- AEDは公共施設など、市で設置を確認しているところのみ掲載しています。災害時の情報収集のため、財団全国AEDマップを確認しましょう。こちらを利用してください。

「津波到達時間：地震発生後、24分で沿岸部の堤防・バイパスを越えて来る想定ですが、もっと早い可能性もあります。」



JR東海道新幹線より北側の浜湖沿岸および河川沿いの浸水域は、地震の揺れによる堤防の破壊で、地震発生後すぐに浸水する可能性のある区域です。

1:13,000

